

【クラウド化進捗チェックリスト】

これを「はい／いいえ」や「完了／未完」で自分でチェックしていけば、すぐに“現状マップ”ができて迷子にならなくなる！

1. API・バックエンド(FastAPIなど)

- Cloud RunやApp EngineなどGCP上にAPIをデプロイできている？
 - 本番環境でAPIに外部からアクセスできる？
 - (ローカルでなく)GCPのURLで動作確認できる？
-

2. データベース

- Cloud SQL(PostgreSQLなど)を本番DBとして使っている？
 - アプリのDB接続先がlocalhostやsqliteではなく、Cloud SQLになっている？
 - DBパスワードや接続情報は.envでなくSecret ManagerやGCP環境変数？
-

3. ファイルストレージ

- PDFやアップロードファイルはCloud Storageに保存している？
 - ローカルディレクトリでなくGCSバケットへの書き込みになっている？
-

4. 認証・ユーザー管理

- Google OAuth認証がCloud Run環境で正常に動いている？

- ローカル専用のテストアカウントやパスワード管理が残っていない？
-

5. 設定値・シークレット

- DBパスワード・APIキー等を**Secret Manager**管理に移行済み？
 - ローカルの.envだけに依存していない？
-

6. フロントエンド(Streamlit/WebUI)

- **Streamlit**(や**React UI**)は**Cloud Run**や**Streamlit Cloud**など**GCP**で常時公開状態？
 - ローカルのlocalhost:8501でしか見られない状態ではない？
-

7. CI/CD・監視

- **GitHub Actions**や**Cloud Build**等の自動デプロイは導入済み？
 - **Cloud Logging/Monitoring**でエラー・利用状況は可視化できてる？
-

【現状のチェック手順(おすすすめ進め方)】

1. 上記項目に「はい／いいえ」「完了／未完」で自分でチェックを付ける
 2. 「いいえ／未完」の項目をリストアップ→その部分から1つずつクラウド化！
 3. チェックリストをテキスト・**Excel**・**Google**スプレッドシート等に転記して管理もおすすめ！
-

【ハカセ流: 効率的な確認のしかた】

- ターミナルで「**Cloud SQL**にしか接続できないようにする」など、一時的にローカル機能を止めてみる
- **Cloud Console**や**GCS**バケットで「新しい**PDF・DB・API**が**GCP**上に現れるか」目視で確認
- **API**エンドポイント(**Cloud Run URL**)や**DB**接続文字列を「**GCP**リソース」だけに絞る
- **.env**ファイルやアップロードディレクトリに“ファイルが溜まってないか”確認して、ローカル依存が残っていないか見る